防災学術連携体　令和8年熊本地震　2か月報告会
セッション4 「避難・救援・支援活動について」

先遣隊活動と健康的な生活に向けた方策

一般社団法人 日本災害看護学会　宮前 繁　（東京科学大学病院）
三橋 睦子（国際医療福祉大学）

2026.09.29
一社）日本災害看護学会

内容

1. 本学会の調査、看護支援活動
2. 令和8年熊本地震に関する活動
3. 被災地における健康的な生活に向けて
4. 感染対策の観点より
5. 予定

2026.09.29
一社）日本災害看護学会

一般社団法人
日本災害看護学会における調査、看護支援活動

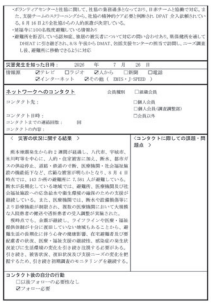
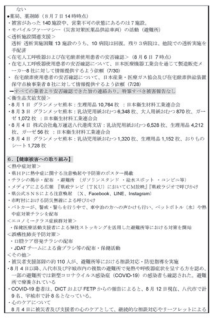
種類	目的
初期調査	学会のネットワークを活用し、被害状況、ケアニーズ等の把握する。
初動調査	被災地に赴き、被害状況、ケアニーズ等を把握する。
継続調査	中長期的な対応や課題等を把握する。
先遣隊	災害看護の専門家として現地に入り、看護ニーズ等の情報収集とアセスメントを行い、必要な看護支援を明確にする。 優先される看護ニーズへの応急的な看護支援を行いながら、アセスメントを継続し、必要に応じた支援体制作りのサポートや他機関との連携調整を行う。

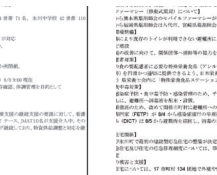
令和8年熊本地震における活動の流れ

月日	内容
7月28日	地震発生 月当番による初期調査の開始 22:10　初期調査として第1報作成
29日	学会理事間で情報共有開始　（会員からの情報を共有していく） 初期調査第2報作成
30日	**先遣隊の派遣を決定**
31日	初期調査第3報作成
8月4日−6日	先遣隊（2名）派遣（8月6日まで）
8月10日	初期調査第4報作成 初期調査終了
	継続調査を検討中

初期調査結果

本学会HP　https://jsdn.info/



初期調査より見えてきたこと -1

1. 発災直後から急性期の看護活動

- 病院避難や患者搬送が発生
- 重症度や医療依存度を把握したうえでの、安全な搬送と継続看護が課題

2. 亜急性期における避難生活上の健康課題

- 断水・暑熱・過密等により、避難所での2次的健康障害、感染症や熱中症、慢性疾患悪化等のリスクが増大し得ることから、継続的な健康観察と必要時の介入が必要

3. 要配慮者に対する継続的な看護支援

- 高齢者、慢性疾患保有者（透析施設の透析困難）、医療的ケア児者等の治療継続を支援し、避難所・在宅双方の潜在的な健康問題を多職種につなぐことが重要

4. 医療・福祉施設の機能維持と継続看護

- 断水等で施設機能が低下する中、限られた人員・物資で安全なケアを継続できるよう、職員支援と引継ぎが必須

初期調査より見えてきたこと -2

5. 在宅避難者・車中泊者への支援

- 避難所外（自宅）の被災者は健康問題が把握されにくい
- 個別訪問や地域との連携による、継続的な支援体制の早期構築が必要

6. 被災者と支援者の心のケア

- 不安や不眠、喪失感等への継続支援に加え、医療・福祉職等の支援者の疲労や心身の健康にも配慮が必要

7. 復旧・生活再建期に向けた看護課題

- 避難先の移動による支援の途切れを防ぎ、医療・介護・地域支援へ確実につなぐとともに、復旧作業中の2次的な健康被害の発生可能性

2026.09.29
一社）日本災害看護学会

令和8年熊本地震における活動の流れ

月日	内容
7月28日	地震発生 月当番による初期調査の開始 22:10　初期調査として第1報作成
29日	学会理事間で情報共有開始　（会員からの情報を共有していく） 初期調査第2報作成
30日	**先遣隊の派遣を決定**
31日	初期調査第3報作成
8月4日-6日	先遣隊（2名）派遣（8月6日まで）
8月10日	初期調査第4報作成 初期調査終了
	継続調査を検討中

2026.09.29
一社）日本災害看護学会

先遣隊活動の行程

8月4日　訪問先
- 熊本県看護協会
- 訪問看護ステーション

8月5日　訪問先
- 熊本県保健医療調整本部
- 八代保健所
- 児童養護施設

※障がい福祉や子育て支援を行う地域活動の拠点

8月6日　訪問先
- 熊本市ボランティアセンター
- 熊本県看護協会

能登半島から支援を受けたシャワールーム
八代市内児童養護施設

児童養護施設内のシャワールーム

先遣隊活動より認識した医療看護の課題

現地の状況

- 猛暑
- 断水
- 停電
- 避難所内の過密
- 夏季休暇
- 医療アクセス難

避難生活上の留意事項	課題
空調	温度、湿度
栄養	食品衛生
排泄	
活動	滞在区画、屋内活動
休息	プライバシー確保
清潔	身体、口腔、衣服の清潔
安全安心	こころのケア、子どもの居場所
社会文化的交流	
個別ニーズに応じた配慮	服薬管理
体調不良と外傷の対処	
個別事案への相談窓口	

2026.09.29
一社）日本災害看護学会

健康的な生活に向けて

課題
温度、湿度
食品衛生
滞在区画、屋内活動
プライバシー確保
身体、口腔、衣服の清潔
こころのケア、子どもの居場所
服薬管理

◆ 倦怠感
◆ 掻痒感（不快感）
◆ 活力の低下
◆ 日常活動量の減少 ・・・

✓ 熱中症
✓ 感染症
✓ 慢性疾患の増悪
✓ 廃用性症候群
✓ 深部静脈血栓症 ・・・

2026.09.29
一社）日本災害看護学会

健康的な生活に向けて

課題
温度、湿度
食品衛生
滞在区画、屋内活動
プライバシー確保
身体、口腔、衣服の清潔
こころのケア、子どもの居場所
服薬管理

◆ 倦怠感
◆ 掻痒感（不快感）
◆ 活力の低下
◆ 日常活動量の減少 ・・

✓ 熱中症
✓ 感染症
✓ 慢性疾患の増悪
✓ 廃用性症候群
✓ 深部静脈血栓症 ・・・

<u>看護活動</u>

- 保健医療マネジメント
  （支援体制の確保、維持）
- 医療提供
- 安全な環境の提供
- 日常生活支援
  （環境整備）
- 健康障害の予防
- 要配慮者に対する支援

健康的な生活に向けて

課題
温度、湿度
食品衛生
滞在区画、屋内活動
プライバシー確保
身体、口腔、衣服の清潔
こころのケア、子どもの居場所
服薬管理

◆ 倦怠感
◆ 掻痒感（不快感）
◆ 活力の低下
◆ 日常活動量の減少 ・・・

✓ 熱中症
✓ 感染症
✓ 慢性疾患の増悪
✓ 廃用性症候群
✓ 深部静脈血栓症 ・・・

➢ **回避可能な災害死**
Avoidable disaster death

災害リスクガバナンス関連の死亡
・極度の疲労、衰弱　など

一次予防・公衆衛生政策等で回避できる死亡
・自殺　など

適切な医療の提供により回避できる死亡
・病床不足　など

2026.09.29
一社）日本災害看護学会

健康的な生活に向けて

課題
温度、湿度
食品衛生
滞在区画、屋内活動
プライバシー確保
身体、口腔、衣服の清潔
こころのケア、子どもの居場所
服薬管理

◆ 倦怠感
◆ 掻痒感（不快感）
◆ 活力の低下
◆ 日常活動量の減少 ・・・

✓ 熱中症
✓ 感染症
✓ 慢性疾患の増悪
✓ 廃用性症候群
✓ 深部静脈血栓症 ・・・

➢ **回避可能な災害死**
Avoidable disaster death

災害リスクガバナンス関連の死亡
・極度の疲労、衰弱　など

一次予防・公衆衛生政策等で回避できる死亡
・自殺　など

適切な医療の提供により回避できる死亡
・病床不足　など

発災後の時間とともに変化する生活環境（3段階モデル）

生活環境の変化

【急性期】0～24～48時間
・混乱・密集・上下水道途絶
・初期ゾーニングが必要
・発熱・下痢症状者の早期把握

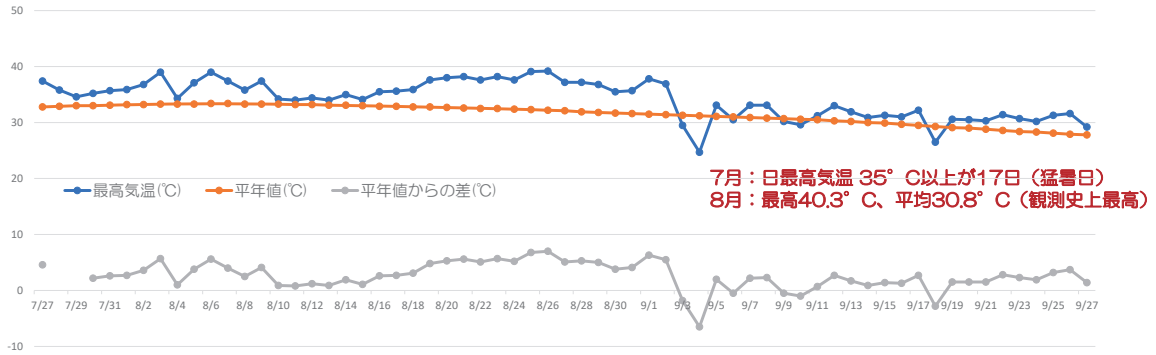
“令和8年熊本：7～8月
平均29.5～30.8℃の異常高温”
平年差＋2～2.4℃ → “災害時の生活環境が亜熱帯化”

【避難所環境悪化期】2～7～14日
・トイレ汚染の進行
・手指衛生導線の確保
・生活動線の整理（清潔／不潔の分離）
・隔離調整の必要性

【生活再建期】1～4～8週間
・仮設住宅の衛生管理
・在宅避難者の健康観察
・慢性疾患の悪化予防
・生活支援と感染予防の両立
・避難所・車中泊者の衛生管理

0～24～48h　2～7～14日　2～4～8週間

八代市　最高気温（7/27~9/27：2ヶ月）



7月：日最高気温 35°C以上が17日（猛暑日）
8月：最高40.3°C、平均30.8°C（観測史上最高）

“災害時の看護職が直面する“亜熱帯化による感染リスク”

高温多湿 → **腸管系感染症（ノロ・ロタ以外の細菌性下痢）増加**
水害後 → **創傷感染（Aeromonas、Vibrio）**
密集＋高温 → **インフル・COVIDの拡大速度が上昇（推論）**
高温でトイレ環境悪化 → **糞口感染のリスク増大**

猛暑下の災害時感染対策の“要点3つ”

“今年の熊本の特徴：猛暑×地震×長期避難”

1）トイレ・排泄物管理の“高温劣化”への即応

便槽温度上昇 → 臭気・細菌増殖 → 下痢症の拡大リスク
導線設計と清潔／不潔の分離が必須

2）高温下の手指衛生ポイントの“機能維持”

アルコール揮発 → 使用量増
水不足でも使える手指衛生の確保

3）発熱者の早期把握と隔離調整（暑さで発熱原因が多様化）

熱中症 vs 感染症の鑑別
高温環境での隔離スペース確保（換気・温度管理）

避難所:ダンボールベッド

避難所へのボランティアへ水配給

ランドリー

シャワー

トイレ

2026.09.29
一社）日本災害看護学会

令和8年熊本地震に関する予定

➢<u>ネットワーク活動</u>
- 継続調査（検討中）

➢<u>**第28回年次大会（秋田県秋田市開催）**</u>
- 緊急シンポジウムの開催
- 緊急演題発表枠の設置
- 第28回年次大会会場での募金活動

<u>年次大会HP</u>
<u>https://www.tohoku-kyoritz.jp/jsdn28/</u>